

岐阜市で「雪崩災害防止セミナー」を開催しました

雪氷チーム

平成22年12月3日、岐阜市の岐阜県図書館で「雪崩災害防止セミナー」（主催：土木研究所、共催：雪崩防災シンポジウム実行委員会、後援：国土交通省中部地方整備局）を開催しました（写真－1）。

このセミナーは、最近の雪崩災害の特徴と対策、最新の研究状況等について理解を深めてもらうことを目的として、寒地土木研究所の雪氷チームとつくば中央研究所の雪崩・地すべり研究センターが共同で企画したものです。本セミナーは昨年の山形県に続き4回目、中部地方では初の開催となります。本セミナーの概要を、表－1に示します。

初めに名古屋大学大学院の西村教授から「雪崩の基礎知識と現場での活用」と題して、雪崩の分類や定義などの基礎知識の他、雪崩の発生原因となる積雪層の弱層形成過程について、積雪の圧密過程のモデルを利用した説明や、雪崩発生後の状況を正確に把握することも、現場での雪崩対策に重要であるなどの説明をいただきました。

続いて国土交通省河川局砂防部保全課の林課長補佐から「国内における雪崩災害防止の取り組み」と題して、国内における雪崩対策箇所の考え方や、雪崩対策施設によるハード的な取り組み、及びインターネットを利用した危険箇所の公表などのソフト的な取り組みについて、話題提供がありました。

土木研究所からの話題提供としては、雪崩・地すべり研究センターの伊藤研究員から、航空レーザ計測で

取得した植生データから、樹高や樹林密度を求め、雪崩危険度分布の作成が可能であることを報告しました。

最後に雪氷チームの松下研究員からは、道路における雪崩対策の基本的な説明の他、斜面積雪が雪崩予防柵をすり抜ける現象とその対策の考え方、及び雪崩対策施設の効果を十分に発揮させるためには、設置後の点検を行うことが大切であることを報告しました。

今回のセミナーには、国や県、市町村の行政担当者、他、大学、研究機関、コンサルタントなどの雪崩に関係する方々から96名のご参加をいただきました。アンケート結果では、雪崩対策の問題点や失敗例の話題提供も欲しいなどの貴重なご意見をいただきました。雪氷チームと雪崩・地すべり研究センターでは、今回いただいたご意見やご要望を参考に、今後も研究成果の普及や技術の紹介のためのセミナーや講習会を積極的に開催していきたいと考えています。

今後の開催予定などは、随時、道路雪氷メーリングリスト等を通じてご案内しますので、関心をお持ちの方はWebサイト (<http://www2.ceri.go.jp/news/archives/000078.html>) をご覧のうえ登録いただければ幸いです。

最後に、本セミナーの開催にあたり御協力をいただいた関係各位に感謝申し上げます。

（文責：坂瀬 修）



写真－1 雪崩災害防止セミナーの開催状況

表－1 「雪崩災害防止セミナー」の概要

開催日時：	平成22年12月3日 13:30～16:00
開催場所：	岐阜県図書館（岐阜市宇佐4-2-1）
開催機関：	（主催）（独）土木研究所 （共催）雪崩防災シンポジウム実行委員会 （後援）国土交通省 中部地方整備局
講演	「雪崩の基礎知識と現場での活用」 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 西村浩一氏
話題提供	「国内における雪崩災害防止の取り組み」 国土交通省河川局砂防部保全課 課長補佐 林孝標氏 「航空レーザ計測データを用いた 雪崩危険範囲の絞り込みの検討」 雪崩・地すべり研究センター 研究員 伊藤陽一 「最近の道路雪崩対策の課題と研究への取り組み」 寒地土木研究所 雪氷チーム 研究員 松下拓樹